

「学校規模適正化基本方針に対する意見」について（集約）

1 「田代小学校と尾崎小学校は、令和9年4月を目標に阿久根小学校との統・廃合を行う。」ことについて

(1) 田代小

ア 「同意する」の地域住民の意見

区長 1： 入学児童も全くなく再校出来るめどもない今の休校状態で有れば、学校の校舎などの使用が制限されるので校舎などの施設が老朽化する事が考えられる。廃校にして田代小学校を田代地区のコミュニティーの場として校舎なども活用する事が、田代小の施設なども存続でき、田代地区の活性化にもつながると思います。

区長 2： 集落で話し合いした結果、高齢化も進み少子化、人口減少のため。

イ 「同意しない」の地域住民の意見

区長 3： 統・廃合を行うためには田代小学校が廃校になっているという前提条件が必要であるが、令和5年4月30日に開催された田代地区総会において「当面の間、休校とする」との決議が行われ、その旨の意見書（総会議事録）を教育委員会に提出したところである。その後、環境の変化がないことから現在もこの決議が生きている。

よって、現時点でも住民の総意として田代小学校の廃校には反対であり、令和9年4月に統・廃合を行うことに同意しない。

これまでの統・廃合の流れを見ると、教育委員会がいきなり新聞で統廃合の考えを打ち出すなど地域の住民感情を無視した取組が行われてきており、教育委員会の都合だけを考えて、統・廃合を行いたいが一心の「押しつけ」的な説明がなされてきたように受け止めている。しかしながら、各地域からの反発の強さを感じたのか徐々に地域の意見に配慮するようになってきている。特に小学校については、教育施設であると同時に地域社会の中核的なインフラ施設であることにも十分に配慮し、地域住民に対して統・廃合のメリット・デメリットを丁寧に説明するとともに、もし廃校になった場合は学校施設をどのように利活用して地域のインフラ機能を維持・発展させるなどの将来像も示すなど、地域住民が維持する説明がほしいところである。

なお、統・廃合により学校施設が行政財産から普通財産となるのであれば、それを所管する市長部局の担当課とも連携して取り組むなど、市役所一丸となった対応が必須であると考えている。

去る3月10日に山村開発センターで開催された統廃合勉強会における説明は、これまでと違って学校統廃合後の地域の将来像をある程度示すなどの工夫がなされており有意義なものであった。人口減少や過疎高齢化に悩む地域の実情に寄り添い、こうした地道な勉強会を重ねていくことで地域住民の理解を深める努力を今後も望みたい。

区長 4： 令和5年5月の集落総会にて、休校の結論となりました。

(2) 尾崎小

ア 「同意する」の保護者の意見

保護者 1： 児童一人の学校ではなく、他の児童もいる学校で学ばせたい。
ただし、次男についても、長男同様、山下小学校に入学させたい。

イ 「同意する」の地域住民の意見

区長 1： 将来人口や児童数が回復する見込みもないことからやむをえない。

区長 2： 反対意見はありませんでした。

2 「鶴川内中学校は、令和9年4月を目標に阿久根中学校との統・廃合を行う。」 ことについて

※ 標記については、「校区内・外」「保護者・区長」「意見の違い」が分かるよう、次のように表現しています。また、校区内保護者1など、同区分・番号は、同人物の意見となっています。

○ 校区内

- ・ 校区内保護者1～9、校区内保護者11・12、校区内保護者21
- ・ 校区区長1～9、校区内区長11～13、校区内区長21～24、校区内区長25

○ 校区外

- ・ 校区外保護者51～58、校区外保護者61、校区外保護者71～75、

○ 校区内・外が不明な保護者81・82、91・92

(1) 校区内の意見

ア 保護者

- ・ 「同意する」の意見

校区内保護者1： 少人数の良さはわかるが、少人数すぎてやりたい事も部活動等も限られる。子供達の可能性・成長はもっと期待できるのにもったいない。

校区内保護者2： 教育委員会の考えに賛成する。計画どおりに進めてほしい。反対される保護者の意見だけを聞くのではなく、賛成する保護者の意見も大事にしてほしい。

鶴川内中の現在の状況はかなり厳しいと思う。体調を崩している先生もいる。学校として成り立つのか疑問である。子どもへの教育は、知・徳・体のバランスが大事であると思うが、それが成り立っていない。

特認校制度で通学している子どもには申しわけないが、その保護者にはもっと考えてほしい。私たちの子どもは他の学校へ通学しようと考えても、送り迎えができない。また、地域住民の学校に対する愛着を考えると、簡単に他の学校を選べない。鶴川内中は、特認校制度のためにある学校ではない。校区の保護者の意見を優先すべきである。特認校制度を希望する保護者の意見はあくまでも参考である。

校区内保護者3： 前も同じような動きがあったと聞いているが、学校の現状を考えると計画どおりに進めてほしい。

先生のことも考える必要がある。病気で休まれている先生もいる。

校区の保護者の意見もさまざまあると思うが、反対の意見を聞きすぎではないか。

校区の子どもが少なく、通学する子どもはもっと少ない。特認校制度のために残すという考えはいかがか。

校区内保護者4： 教育の平等性のため、一定の集団規模が必要だと思います。

校区内保護者5： いいと思う。

校区内保護者6： すみやかに統・廃合すべき。このままの継続は単なる延命治療でしかなく、子どもたちの学びはある程度の人数と適正な教職員配置の上でなされるべきである。

校区内保護者7： やむを得ない。

校区内保護者8： 同意します。早く決定してほしいです。他の学校となると、保護者送迎となつて対応できません。統廃合になると、スクールバス？の対応ができると聞いているのでありがたいです。

校区内保護者9： 同意します。地元の中学校で愛着はありますが、今の人数では本当に厳しいと考えます。

- ・ 「どちらとも言えない」の意見

校区内保護者 11： 賛成意見と反対意見がそれぞれ出ている。
校区内保護者 12： 現時点では鶴中で学ばせたい意見あり。

- ・ 「同意しない」の意見

校区内保護者 21： 統廃合は反対です。
全国的に少子化となり子供達の数が少なくなっている事は理解しています。その結果、児童生徒数も減り学校もあちこちで統廃合や閉校などもしている所もあるのも理解しています。子供達が少なくなっているのだから仕方のない事だとは思いますが。
だからと言って、「阿久根でも統廃合します」と、言われ「はいわかりました」と、一言で終わらせる問題でもないのかと思います。
大規模校は大規模校なりの、小規模校には小規模校なりの良さがあります。それが一つになったから、二つの良さが合わさりそれ以上になるとは思えません。確実に小規模校の良さはなくなっていくと思います。もしかしたら、一つになった事でそれぞれの良さがなくなり、それ以下になる可能性もあり得るかもしれません。
支援学級に通っている子供達、大規模校には通いづらく小規模校に通っている子供達、その子供達は統廃合した大規模校に通う事が出来るのか。学校に通うのは子供達なので、子供達の事を一番に考えてほしいです。地域に学校があるからこそ、地域の方と子供達が交流出来ていて、地域の方が子供達の事を知り見守ってくださっていると思います。地域に学校がなくなると、地域の方と子供達が交流する事が出来なくなってしまいます。
各学校で受け継がれている様々な物があると思います。それも統廃合する事によって途絶えてしまう事もあり得ます。統廃合は子供達、地域の事を全く考えていないと思います。
統廃合は阿久根市の政治的な考えで決めた事なのではないでしょうか。小規模校は自分達の良さを引き出しながら、どうすれば子供達が楽しく、仲良く、元気に学校に通い、学校生活を送れるかを、先生方、地域の方、保護者で考え話し合いながら学校運営をしています。
阿久根市として小規模校をなくしていくのではなく、どうやって小規模校を存続させていくのかを考えてほしいです。阿久根市の未来を担うのは子供達ですので、どうかよろしくお願いします。

イ 区長（地域住民）

- ・ 「同意する」の意見

校区内区長 1： 今後の入学者の減少傾向をみると統廃合は自然じゃないか。
クラブ活動などの選択肢の広い学校を望む旨からやむを得ない。
校区内区長 2： 区としては同意する。但し、児童のいる保護者の意見を尊重する。
校区内区長 3： 少子化の為やむをえない。
条件付きで賛成（人数の縮小は事実の為）通学に支障がない様にスクールバス等の運行をすること。小学校の各児童の精神面のフォローを十分にしている事。多人数の中で孤立する事のない様・該当校生との意見要望も確認する事。
同意であるが転校させるべきではない（新入生を受け入れない事）

三笠中に行かせたい。
生徒数が少なく統廃合はやむを得ない。
生徒数減少によりしようがないと思う。
統廃合はやむえなしであるが、折多小児童は全て三笠中への入学とするべきである。
今の現状（少人数）では統合するしか仕方がないのでは。
少ない人数では、やりたい部活動なども出来なかったり限られてくるので。
鶴川内中学校がすべて阿久根中学校に？三笠中学校への可能性は？

校区内区長 4： 自分、子供達の母校がなくなるのは悲しいけど、今後の生徒数を考えると仕方ない。

校区内区長 5： 止むを得ない。

校区内区長 6： 児童の現状の内容等考察の上で行政の方針であろうと思われますので理解しなければいけないところだと考えます。

校区内区長 7： 問題ないと思います。妥当であります。同意致します。

校区内区長 8： 同意する。早急に統廃合してほしい。

校区内区長 9： 同意する。

・ 「どちらとも言えない」の意見

校区内区長 11： 在校生保護者の意見を尊重する。

校区内区長 12： 今の所どちらとも言えない。

校区内区長 13： 鶴川内中学校については、田代地区の子供たちが進学することから統・廃合について大きな関心を持って推移を見守っているが、小学校と違って中学校は学習内容がより専門的となり、地域の力で子供たちの学力を向上させるというわけにはもいかないことから、小学校と違って地域のウェイトは低いものとする。
よって、ひとえに保護者がどのように考えるのかが重要である。

・ 「同意しない」の意見

校区内区長 21： 折多校区の阿久根・三笠への振分けを検討すべきである。

校区内区長 22： 地域住民としては統廃合は反対。ますます過疎化も進み若者が鶴川内に住まなくなってしまう。田舎に住みやすくするのが行政の責任ではと思う。

校区内区長 23： 開校して約 80 年位経過して地域住民も共有し生徒を見守って来たが、そこ 10 年位の検討で廃校にすべきではない。

校区内区長 24： 生徒数の減少はわかりますが、地域の子供や校区外の子供さんが小さな学校を希望する生徒がいる。

・ 「その他」の意見

校区内区長 25： 休校と結論になっています。

(2) 校区外の意見

ア 保護者

・ 「同意する」の意見

- 校区外保護者 51： 同意します。現在の市の人口を考えると、学校数を減らさなければ、よい環境（設備、先生の数、にぎやかさ）の中での教育は難しいと思います。
- 校区外保護者 52： 基本的に校区内の子供がいるのであればその意見は大事ですが、特認のみとなってくると、三笠中でもいいのでは。少人数校しか行っていない子供が、高校から人数がもっと増えるとなるとさらに行きにくく思う。統合はすべきだと思います。
- 校区外保護者 53： 早期、統合を求めます。全校で 10 人にも満たないというのは子供達にとってももっと多くの人との交わりが必要と考えます。
- 校区外保護者 54： 同意します。
- 校区外保護者 55： 同意します。ただし、通学等についての配慮は充分に行ってほしいです。
- 校区外保護者 56： 入学時の人数や保護者の意見をふまえてからの同意する。
- 校区外保護者 57： 同意する。今の現状と今後考えても統廃合が良いと思う。
- 校区外保護者 58： 同意する。

・ 「どちらとも言えない」の意見

- 校区外保護者 61： 鶴川内中学校を閉校することについては、鶴川内中学校区内の中学校 1 年生以下の保護者の意見と、鶴川内地区の地域の方々の御意向で決めていただきたいです。
- ただし、上記の方々の御意向が閉校となった場合「自動的に」阿久根中学校が閉校となることは、反対です。どのような方法で合併するのかは、上記の方々の意向だけではなく、阿久根中学校区の中学校 1 年生以下の保護者の意見と、阿久根中学校区内の地域の方々の意向を聞いてください。さらに場合によっては、地域の代表の方や P T A 会長などで話し合っ て決めていただきたいです。

・ 「同意しない」の意見

- 校区外保護者 71： 大川、西目、山下、阿久根小からの唯一の特認校であり、特認校への進学を選択肢を減らすべきではない。
- 小規模校・中規模校の長短所を踏まえ、児童・保護者が判断できる環境も必要であると考えます。
- 脇本小から三笠中だけ小中一貫校を作る意味が分からない。他の学校で出来ないのは「複式学級の改善にならない」との理由だと思うが、「複式学級の改善」と「学校が減り、選択肢が減る」で判断すると「学校が減り、選択肢が減る」ことが児童、市民に大きなマイナスである。また、折多小も複式が予定されているが統廃合の対象外となっているのは理解が全くできない。「折多小は校区が 3 つもあるため」と説明を受けているが意見交換会で校区の見直しも意見している。
- 校区外保護者 72： 「 」 ←（個人情報のため、不記載）
なので同意しない。
- 校区外保護者 73： 希望では残してほしいです。
- 校区外保護者 74： 統・廃合することによって（いじめ）られる子供達がふえてくる。自殺者も増える。
- 校区外保護者 75： 特認校制度も活用して就学したいというお子さんがいるのであれば意見も尊重すべきだと思います。

(3) 「校区内か校区外か分からない」保護者の意見

保護者 81： いつかは統廃合しなければいけないのであれば仕方ないと思うが同意したくない。小規模校を希望する子どもはたくさんいると思うので、それを活かして他県や他市からも生徒を募集したらいいのではないかと思う。

保護者 82： 大反対です。

(4) その他の保護者の意見

校区外保護者 91： 阿久根中学校との統合にして、三笠中学校へ通いたい生徒は特認制度で通学してもらおう。以前の大川中との統合の形と一緒にいいと思う。

校区外保護者 92： 特になし。

3 今後、小・中学校に入学予定のお子さんがいらっしゃる保護者の意見を尊重することについて

校区内保護者 1： 今後入学する子の保護者は現状（PTA活動なども）がわからないと思うので、尊重しても今後の参考になるのか期待できないと思う。

校区内保護者 2： 当然であり、尊重すべきである。

校区内保護者 3： 保護者の意見を大事にしてほしい。今までは、反対の意見に重点を置いた対応に思う。
今後は、賛成の意見に重点を置いてほしい。

校区内保護者 4： 地域のご意見も大切だと思いますが、尊重頂けたらと思います。

校区内保護者 5： 尊重する。

校区内保護者 6： 市としてリーダーシップを発揮し、総合的に判断すべきである。
保護者は、送迎がネックだとか遠いだとか母校がどうだとかの理由では反対されるので本末転倒である。
地域・保護者は反対する人の声が大きく聞こえるだけで、大半は賛成である。

校区内保護者 7： 総合的に判断する。

校区内保護者 8： 保護者尊重してほしい。特に小学校の意見を尊重してほしいです。

校区内保護者 9： ぜひ尊重してください。

校区内保護者 11： 保護者の意見を尊重していただきたいという意見が多数である。

校区内保護者 12： 尊重する。

校区内区長 1： 特認校の思いや校風を親って希望する意見も尊重すべき。

校区内区長 2： 同意する。子供が少なくなっているうえ、子供達も小学校の友達と同じ学校に進みたがっている。来年度、鶴川内中への進学希望者は、本地区3名中0名との事である。
生徒数が少ないと、学校行事も制限されてしまう。スクールバスを出してほしい。

校区内区長 3： 保護者の意見を尊重して下さい。
当然負担を担う保護者の意見を尊重すべき。十分な説明・要望を取り入れてあげて欲しい。
現在の保護者さんで、R9年に子供がいるのか？尊重する。
統廃合に当たり希望を良く聞いて無理しないようにして欲しい。
総合的に判断して欲しい。
保護者の意見が第一であると思うが、今迄地域とのコミュニケーションもあったので、統合されたら地域が広くなるにつれ今まで通りコミュニケーションは取れないのではないか。
総合的に判断するべきである。

無視はできないが、生徒達の今後の勉強や色々な活動の事を考えると統廃合はしかたない。

校区内区長 5： 反対する理由なし。

校区内区長 6： 区長、地域の役員・有志の持論を述べてもお互いの言葉流れに成るだけ言葉は色々な形を作る為保護者当人同然の意見が最優先だと思います。当事者の意見を重視するのが基本的な有り方と考えます。

校区内区長 7： 聞き取り等行いましたが、やむ得ないとの事。問題ありませんでした。

校区内区長 8： 尊重する。将来の事を考えて早めに統合してほしい。

校区内区長 9： 保護者の意見であると考えます。

校区内区長 12： 尊重する。自分の子供の将来を考えた保護者の意見を重視します。

校区内区長 13： 小学校においては、学力の向上もさることながら「人間としてどのように育っていくか」という人間性の教育にも力点が置かれており、その観点から「コミュニティスクール」にみられるように、先生だけではなく地域も協力して子供たちを育てていくという環境ができています。また、小学校は教育施設ではあるが、人口が少ない周辺部においては地域住民の集会・交流施設、スポーツ施設、災害発生時等の一時避難場所としての機能も持っており、地域社会の重要なインフラ施設となっている。

よって、統・廃合については、保護者の意見も重要であるが、同時に子供たちを支える地域社会（地域住民）の意見も重要である。

一方、中学校については、小学校において基礎的な学習を済ませていることから、よりよい学力に力点を置いた教育がなされていることを考えると、保護者の意見が重要であり尊重されるべきであろう。

校区内区長 24： 総合的に判断すべき。地域の中心であり、地域住民の意見も尊重すべきと判断する。

校区内区長 25： 地域も大事ではありますが、保護者の意見も大切だと思います。

校区外保護者 51： 尊重すべきだと思います。現在の状況を肌で感じているのは、現在子育てをしている保護者です。

校区外保護者 52： 尊重しすぎたせいで、今の状況が出来てしまったのでは。全て聞き入れていたら時間がいくらあっても足りない。自分の都合で言われている意見は聞く必要ないと思う。

何が一番重要かをもっと大事にした方がよい。

校区外保護者 53： 必要と思いますが、少子化の波は避けられず、全員の意見をまとめるのも無理があるので、現状を考える事が必要だと思います。

校区外保護者 54： メリット・デメリットを具体的に知らないので何とも言えません。少ない学校の維持のため、人件費はけっこう大きいのかなと思います。

校区外保護者 55： 実際の学校に通う子どもを持つ保護者の意見は尊重すべきだと思います。

校区外保護者 56： 総合的に判断すべき。

校区外保護者 57： 尊重する。まずはそこへ通わせる保護者の意見が大事。

校区外保護者 58： 総合的に判断するべき。

校区外保護者 61： 阿久根中学校、鶴川内中学校の両方の、校区内の中学校1年生以下の保護者の意見を尊重してください。

校区外保護者 71： 実際に通うのは子供であり、保護者の意見が最優先であることは間違いない。教育委員会や地域は、実際小、中学には通えず、学校生活のことまで理解できない。

校区外保護者 72： 尊重してほしい。しかし、今現在在校生の保護者も尊重するべき。各地域での伝統もあるので尊重してほしい。

校区外保護者 73： 尊重してもっとよりよい学校になると思います。

校区外保護者 74： そんなしょうする。

校区外保護者 92： 正直、特認校は一校だけでも残してほしい。

校区外保護者 75： 保護者だけでなく、まずは子どもがどういう環境であれば不登校なく登校できるのかを考えるべきだと思います。実際に学校生活を送るのは子どもなので。

校区外保護者 91： 尊重します。

保護者 81： 尊重すべきは子どもではないでしょうか？保護者はもちろんですが、子どもの人権もあると思いますし、意見もあると思いますが。

ただ今いる生徒が保護者がきちんと同意できる方向で検討してほしい。誰かが我慢したり、不利益になるのはおかしいと思う。

保護者 82： 同意する。

4 統・廃合に係る質問について（何か質問等があれば、御記入ください。）

校区内保護者 1： 地域の人や一部の人が残したい学校を決めたところで、今後の子供たちの人数は、表にして市役所の方からも説明があつて少なくなっていくのは仕方がないこと。強く反対すれば残すのではなく、経営面・教師の数や能力の差もあると思うし、子供の未来を考えると、統廃合して良い教育をみんなが受けることができれば問題ないと思う。

校区内保護者 2： 教育委員会のこれまでの対応は十分である。説明・意見交換会へ出席しないのは、その保護者の都合であり、大事な会には参加するべきである。

教育委員会だけに責任を転嫁するべきではない。

学校の統廃合は、行政が中心となり進めるべきである。保護者や地域住民の意見を聞くことは大事と思うが、まとめることは難しい。反対の意見は言いやすくて、賛成の意見を言うには勇気がいる。

学校の統廃合については、時間をかけて取り組めばいいというものではない。時期を逃さずに対応するべきである。

校区外の人が、いろいろな意見を言われるが、無責任な意見が多い。

学校を残すことは心情的にわかり有難いが、先を考えて対応するのが当然である。現在、これだけ多くのことが新しく変化する中で、教育だけが取り残されているのは残念である。

鶴川内中校区の子どもが他の学校を選ぶ場合については、保護者の送り迎えではなく、教育委員会の通学支援を行うことを検討してほしい。保護者の送り迎えが難しい家庭もある。

校区内保護者 3： このような問題は、教育委員会主導で進めてほしい。私たち保護者は、これからも地域で生活していかなければならない。地域の方々と人間関係がぎくしゃくすると、子どもまで影響する。それは避けたい。

地域の方々の意見もさまざまあるが、理解され賛成される方が多いと思う。

議員でこの問題についていろいろ意見を言われるが、保護者の誰かが相談しているのか。当事者でない人があれこれ意見を言うのはどうか。公平な立場での意見は少ない。当事者ではない人には、見守る姿勢がほしい。

特認校制度を利用する保護者もいるので、校区外の保護者の意見も聞いていると聞いたが、その必要はないのではないか。校区の意見を大事にすべきであり、それで十分だと思う。

地域の維持や活性化は、深刻な問題である。中心となっている区長さん方は有難い存在である。地域の維持は、保護者も含め、みんなで取り組むことであり、学校がないは別の問題であるので、わけて考える必要がある。

校区内保護者 4： 三笠中学校の方が近く、また小学校のクラスメイトの多くが三笠中学校に進学します。校区割の変更と統廃合を行う可能性はあるのでしょうか。また、校区が阿久根中学校校区になった場合、事由なく三笠中学校への通学は認められるのでしょうか。柔軟な選択ができると大変

有難いです。

校区内保護者 6： 統・廃合後に活用したい事業者は、現段階で申し入れて良いか。統・廃合後は老朽化する前に利活用すべきと思います。

校区内保護者 7： 阿久根中ではなく、三笠中が良いのではないかと。もしくは選択できるようにすれば良いのではないかと。

校区内保護者 9： さまざまな意見や考えがあると思いますが、全体的な視点から考え、教育委員会の方針を前面に出し、計画どおりに進めてください。

校区内保護者 12： 現在示されている基本方針が今後流動することがあるのか？

校区内区長 1： 統廃合の時期が決定する前に、今回のような地域住民の意見を聞くことをやるべきと思う。

校区内区長 3： 学校の跡地の利用について

高齢者が集う場所の確保

イベント・民泊等 etc

各々の学校に伝わる伝統行事等があれば尊重して欲しい。

小学校区単位で中学校に進学させるべきです。折多小も近い将来統廃合になる可能性が高いはず。

通学バス等の利用はあるのか？

鶴川内中学校の伝統がなくなるのは寂しい気持ちです。

他の地域でも統廃合は行われてきている。少子化が進んでいるのでやむを得ないと思う。

通学方法について心配、一部活動などがしっかり出来るのか？しっかりした計画と地域住民の意見・保護者の意見を聞いてほしい。

校区内区長 6： できる事であれば廃校でなく休校の形が望ましいと思うところです。

地域の活性化がなく成り敗北化する姿が・・・。

校区内区長 7： 中学校の跡地活用について、よく議論、検討してほしい。

区内区長 8： みんなの意を聞いていれば統廃合はむずかしいと思う。早く前向きに統廃合してほしい。

校区内区長 13： これまでの統・廃合の流れを見ると、教育委員会がいきなり新聞で統廃合の考えを打ち出すなど地域の住民感情を無視した取組が行われてきており、教育委員会の都合だけを考えて、統・廃合を行いたいが一心の「押しつけ」的な説明がなされてきたように受け止めている。

しかしながら、各地域からの反発の強さを感じたのか徐々に地域の意見に配慮するようになってきている。

特に小学校については、教育施設であると同時に地域社会の中核的なインフラ施設でもあることを十分に配慮し、地域住民に対して統・廃合のメリット・デメリットを丁寧に説明するとともに、もし廃校になった場合は学校施設をどのように利活用して地域のインフラ機能を維持・発展させるかなどの将来像も示すなど、地域住民が納得する説明がほしいところである。

なお、統・廃合により学校施設が行政財産から普通財産となるのであれば、それを所管する市長部局の担当課とも連携して取り組むなど、市役所一丸となった対応が必須であると考えている。

校区内区長 21： 折多校区の阿久根・三笠への振分けを検討すべきである。

校区内区長 23： 統廃合を主とせず、留学等の推奨も考慮すべきではないかと。又、廃校後の施設の使途が示されていない。住民との検討会がまだ足りない。

校区外保護者 51： 廃校になった学校でまだ使用できているところは、キャンプ場や福祉施設に使うなど活用してほしいです。

少人数校の先生の意見はどうなんでしょうか。授業がしにくい（体育の球技は無理な気がする）とか。少人数校でも学校に行けていない

子がいるのを聞く。クラス替えも登校できるきっかけになるかも。

先を考えた時に、小・中学校少人数の特認、人数の多い普通の高校に子供が行ける気がしないです。

校区外保護者 52: 阿中の校舎が新築されてますが、鶴中に行きたいと思ってる子供が、阿中と統合しても安心出来るような校舎を新築してるのであれば良い。

ですが、今まで通りの校舎が建てられたら統合する環境が整備されてないと言われそう。

校区外保護者 53: 登校時（遠方の方）のバス等の手配など、どうなりますか？

校区外保護者 54: メリット・デメリットを具体的におしえてほしい。何でもとも統合が必要なのかもおしえてほしい。

校区外保護者 61: 統廃合は、学校の規模の大小にかかわらず平等に取り扱うために「新しい学校に統合」との方針は理解できますが、それを決定する前に阿久根小と阿久根中の意見を聞く機会が設けられていないことに平等性を感じられません。阿久根小、阿久根中も、ほかの学校と同じタイミングで、同じように意見を聞く機会を設けてください。

校区外保護者 71: 今回の小・中学校の統廃合で教育委員会の意見は

- ・ 複式学級の改善
- ・ 「生きる力」など育む
- ・ 大人数での行動（体育やコミュニケーションなど）であると思う。
それについて私の意見は
- ・ 複式学級の改善
→ 複式学級が悪いと思わず、逆に自習もでき、良いと考える。複式学級の方がテストの点数が高い実験結果の根拠もある。
- ・ 「生きる力」などを育む
→ 抽象的すぎる。具体性がなく理解できない。
- ・ 大人数での行動
→ 団体行動やコミュニケーションが出来ない子供も増えてきているのは世間も認知していると思う。なので小規模校が必要。大人数での行動などはスポーツ少年団や習い事でも十分可能。

私は、今回の統廃合については、「地域から学校がなくなるのは寂しい」などの感情的な意見で反対ではありません。もちろん、生徒数が5名未満などは仕方がないと思いますが、そうなる前に、校区の見直し、特認校の継続、小中一貫校の推進など、色々方策があったと思うし、教育委員会の言い分と子供たちのメリット・デメリットを天秤にかけた時、現時点では、「統廃合を実施しない」ことが子供たちにメリットが十分にあると考えています。

意見交換会で出た意見のほとんどを教育委員会は「複式学級を改善できない」との理由にしていることが残念です。

校区外保護者 72: 阿小・阿中に統合するメリットは何でしょうか？小学校は特に自宅から遠いし、メリットよりデメリットが多い。

なぜ、毎回、統廃合に力を入れているのか？各小・中学校の特色をいかし、楽しく学校生活を送ろうという考え方にはならないのでしょうか。

校区外保護者 74: 鶴川内中は阿久根中の分校としてのこすべきである。そうしないと特認校の意見をなさない。いじめられた子供たちの逃げ場を作りましょう。

校区外保護者 75: 特認校が必要な子どもたちもいるので統・廃合については、もう少し考えるべきだと思います。

保護者 81: 中学校に教科担任が必要になるので人件費も問題も出てくると思うが、何

年入学まではその中学校で最後まで（卒業まで）とかはできないでしょうか。
大人もそうですが、子どもにとって環境が変化するというのは大きなストレスになると思います。不登校にもつながる恐れがある。

保護者 82： 統・廃合する事によって子供たちのいじめがふえると思います。自殺者もふえると思います。いじめられた子供たちの逃げ場として鶴川内中は残すべきである。

校区外保護者 91： 統合で廃校となる学校ばかりに説明されても、受け入れる側はどんな状況かわからない。せめてPTAの役員だけでも説明してほしい。

校区外保護者 92： 市の人口が減っているから、子供の数も減っているのに、そこをどうかしようということは考えていないのか。

5 その他

校区内区長 13： 去る 3 月 10 日に山村開発センターで開催された統廃合勉強会における説明は、これまでと違って学校統廃合後の地域の将来像をある程度示すなどの工夫がなされており有意義なものであった。人口減少や過疎高齢化に悩む地域の実情に寄り添い、こうした地道な勉強会を重ねていくことで地域住民の理解を深める努力を今後も望みたい。

校区外保護者 61： 私個人は、小学校は市内で 2 校（北と南に 1 校ずつ新しい学校）、中学校は市内で 1 校（新しい学校）に統合するのが良いと思います。
そして、先生方の加配、習熟度別の学習、特別支援の充実、施設の充実、多くの種目が選択できる部活動の確保に取り組んでいただきたいです。

校区外保護者 91： 統合後の阿久根中は、校歌・校旗、共にそのまま残す、伝統を残してほしい。